

# カウンセリング心理士会企画シンポジウム

## カウンセリング心理士活動最前線

司 会：井ノ山正文（カウンセリング心理士会副会長）

話題提供者：森本哲介（兵庫教育大学）

飯田光子（NPO 法人長野県子どもサポートセンター）

武藤幸枝（茨城県保健福祉部子ども政策局少子化対策課 子どもの居場所づくり  
アドバイザー、発達障害者・障害児支援）

小林正幸（東京学芸大学）

指定討論者：諸富祥彦（明治大学）

### <企画趣旨>

現在、カウンセリング心理士会の会員数が減少している。これは、本資格の社会的認知や活動の在り方などが課題であると推察している。

今後、このような状況を変えていくためには、カウンセリング心理士資格の社会的認知度を高めること、カウンセリング心理学に基づく実践が現代社会において必要とされること、そして、社会貢献という目的を具体化していくことと考えている。

その為にはどのような取り組みが有効になるか検討すること、そしてカウンセリング心理士としての活動状況を検証することが急務である。

今回のシンポジウムでは、カウンセリング心理士会の特徴でもあり、良さでもある「多様性」をどのように活かし実践的な場面で展開しているかについて考えたい。

さまざまな背景を有し、学際的な研究を行っている会員、日々様々な現場の先頭に立って実践に取り組んでいる会員、多くの会員の方々がさまざまな領域で活躍されていることこそカウンセリング心理士会の強みとなっている。

しかし、これらを有機的に繋ぐことによって更にカウンセリング心理士会の活動を広げていくことが求められているのではないだろうか。

このような問題意識を持ちながら本会会員が活動しているそれぞれの現場の状況を紹介し、その現場の取り組みから見えてくる様々な事象について考察し、今後の活動に繋がるような提案を行ってきたい。